

「XIV 日本のシェイクスピア」のうち

『日本のシェイクスピア』とは何か

坪内逍遙とシェイクスピア、p. 628

日本独特のシェイクスピア、p. 628

国際文化交流とシェイクスピア、pp. 628-629

移入期のシェイクスピア

日英文化交流、pp. 629-630

江戸時代のプロット類似作品、p. 630

シェイクスピアの紹介、p. 630

江戸時代のシェイクスピア言及文献、p. 630

明治初期のシェイクスピア、pp. 630-631

翻訳史

原作からの翻訳、p. 632

全集・全訳へ、p. 632

坪内逍遙の翻訳変遷、pp. 632-633

読むための劇としての翻訳、pp. 633-634

昭和初期の翻訳、pp. 634-635

翻訳の多様化、p. 635

翻案・改作・創作作品、p. 635

注釈本と対訳本、p. 636

研究史

明治期、pp. 636-638

大正期、pp. 638-639

昭和戦前期、p. 639

昭和戦後期、pp. 639-640

平成期、pp. 640-641

上演史

昭和戦前期、pp. 649-653

昭和戦後期一昭和40年以降、pp. 657-661

事項解説

シェイクスピア表記変遷史、p. 669

ハムレット名台詞翻訳史、p. 670

書誌

日本のシェイクスピア、pp. 907-908

CD-ROM, p. 913

概要：

「日本のシェイクスピア」について、書誌的な視点に加えて、国際文化交流の視点を加えて、客観的事実に即して執筆した。特に、「日本のシェイクスピア」とは何かという定義については、これまでの『シェイクスピア事典』類には取り上げられていない項目を取

り上げて、定義付けを行った。上演などについては、多様化や変容を受け入れる立場をとった。（変型 A 4）